2025/05/31

関西社会学会第76回大会

　　　　摂南大学寝屋川キャンパス

**特攻映画レビューの対応分析**

芦屋市立美術博物館　川原吉貴

**《はじめに》**

**本報告の目的：**現代日本（おおよそ2000年代以降）のナショナリズムについて検討資料を提供すること。

その素材として太平洋戦争中の特攻隊・特攻作戦を描いた「特攻映画」を取り上げる。

**《争点》：現代日本ではナショナリズムは強まっていると言えるのか？（特に若い世代）**

大澤（2011）は『現代日本人の意識構造』などからは「右傾化＝ナショナリズムの高揚」 は見られないとする。

竹中（2017）も計量分析の結果からはナショナリズムの高まりは結論できないと指摘。

一方では2011年の東日本大震災以後、天皇や自衛隊の活躍を核としてナショナリズムが高まっているという指摘（山本（2022））。

**右傾化？を思わせるメディアの現状**

その一例としての戦争映画（特に「特攻映画」）

【参考文献】

大澤真幸，2011，「現代日本の若者の保守化？」『近代日本のナショナリズム』講談社．

竹中佳彦，2017，「有権者の『右傾化』を検証する」『徹底検証 日本の右傾化』筑摩書店．

赤澤史郎，2017，『靖国神社』岩波書店．

石田圭子，2020，「靖国神社における慰霊と“女性的なるもの”の関係をめぐって 現代日 本のナショナリズムの一側面」『国際文化学研究』54：1‐14.

山本昭宏，2022，「原発災害後のメディア言説における『軍事的なもの』―『感謝』による ―統合とリスクの個人化」『シリーズ戦争と社会4 言説・表象の磁場』岩波書店．

森下達，2022，「ネット時代の『歴史認識』―『慰安婦』『靖国』の争点化から『ネット右翼』 へ」『シリーズ戦争と社会4 言説・表象の磁場』岩波書店．